

アガヘ No.45

総主事 堤 弘雄

もうひとつのクリスマス、もう一人の博士

クリスマスのお話の中には、ベツレヘムに輝く星に導かれてキリストの誕生をお祝いするために馬小屋を訪問した3人の博士が登場します。実は、同様にキリストの誕生をお祝いするために旅をしたもう一人の博士の話があります。

アルタバンという博士がキリストにお会いしたときに捧げるための3つの宝石を持ってベツレヘムに向かって旅に出ました。ところが途中バビロンの野原で病気の男の子と出会い、親にお金に換えて病気を治すようにと3つのうちの1つの宝石をあげてしまいます。旅を続け、ベツレヘムの近くにたどり着きましたが、途中でヘデロ王の命令で兵士たちに殺されようとしていた幼児を助けるために残った2つの宝石のうち1個を兵士たちに渡して命乞いをして幼児の命を救いました。その間イエスはエジプトに場所を移動しており、博士はイエスに会うことはできませんでした。

博士はなんと30年以上も旅をしてイエスを探し求めました。後に、ゴルゴタの丘の上でイエスが十字架にかけられるという話を聞きつけた博士は、ゴルゴタへ向かいました。ところが、途中で奴隷に売られようとしている一人の娘を救うために肌身離さず持っていた最後の1個の宝石を身代金として渡してしまいました。それでも、イエスに会いたい博士は歩き続けましたが、不幸なことに大地震が発生して屋根が落ちてきて博士を直撃しました。

博士は薄れていく意識の中でイエスの声を聞きました。「わたしの兄弟であるこの最も小さい者にしてくれたのは、わたしにしてくれたのである。」博士は喜びに浸りながら静かに息を引き取りました。もうひとつのクリスマスのお話をお子様にも聞かせていただければ幸いです。

Message!

熊本YMCA水泳教室の卒業生で、同志社大学に所属する兼瀬稔宜(かねせ としたか)さんにインタビューしました。



— Y M C A 在籍中の一番の思い出は何ですか？
 中学生として最後となる一番大きな大会の九州ジュニア水泳大会に出場したことです。九州内の強豪選手が集まるレベルの高い大会でした。そこで決勝に進出して入賞できたことが最高の思い出です。こんな成績を出したことは今までになかったので、驚きと喜びでいっぱいでした。

— Y M C A での経験は現在どのように活かされていますか？
 九州ジュニア水泳大会に出場し入賞できたのをきっかけに、努力は報わ

るんだと実感し、自信ができました。これは水泳に限ったことではなく、日常のいろんなことにあてはまります。思うようにいかないことも、実現したいと思っ努力を続ければ必ず成果は得られるのです。

— これからの目標は何ですか？
 9月に熊本で行われた全日本学生選手権大会には、全国の大学からトップスイマーが集まり熱戦を繰り広げ、日本新記録が3つ生まれました。この大会を終え、選手としては引退ですが、水泳は好きなのでずっと続けたいですね。今まではきつい練習に耐えてきましたが、これからは水泳を楽しみたいと思っています。

— 水泳をしていてよかったことは何ですか？
 水泳を通して最高の仲間に出会えたことです。一つの目標に向かって共に練習した仲間たちは一生の財産です。水泳は個人競技ですが、一人では練習できません。時にはリーダーから激励を受けることもありましたが、皆で協力し、励まし合ったからこそ苦しい練習を乗り越えることができたと思います。苦楽を共にした仲間と一緒に結果が出せた時は、喜びも倍増でした。



— Y M C A 水泳教室に通う子どもたちへメッセージをお願いします
 夢を追いかけてください。そのために挑戦してほしい。夢を追いかけるには、我慢が必要です。でも、その努力はきっと報われます。すぐには報われなくても、将来必ず何かの役に立ちます。僕は水泳が好きで、たまたま水泳を続ける機会があつて大学生になるまで続けてきました。皆さんも、水泳を大いに楽しんでください。面白くないと続けることはできませんよ。ですから目標を持って、楽しみながら続けていってください！

■兼瀬稔宜(かねせ としたか)さん
 (22歳・身長180cm / 体重72kg)
 小学1年生からながみねファミリー Y M C A で水泳を習いはじめ、6年生で水泳クラブに入る。中学3年生まで在籍。その後、九州学院高校1同志社大学へ進学し現在4年生。専門は背泳ぎ。

【主な記録】
 中学時代 九州ジュニア水泳選手権2位
 高校時代 熊本県高校総体2位
 大学時代 全日本学生水泳選手権大会 100m / 200m 背泳ぎ出場



シンガポールのユースが Y M C A 学院生と交流
 開催期間 / 2009年11月14日(土) ~ 19日(木)
 開催場所 / 阿蘇 Y M C A ・中央 Y M C A ほか
 Y M C A オブシンガポールを通して、シンガポール・ミレニアム・インスティテュートの学生20名が来熊。阿蘇 Y M C A ではインターナショナル・カルチャーナイトと題して歓迎パーティが行われました。パーティには日本語科の留学生2名と、阿蘇のボランティアグループ「どんぐらみ」も参加。日本語、英語、中国語、タミル語、マレー語など様々な言語が飛び交う中、歌やダンスで盛り上がりました。また、4日目には学院生がシンガポールのユースに熊本の街を案内。交流を通して相互理解を深める機会となりました。



中央 Y M C A
 社交ダンスクラブ
 チャリティダンスパーティー
 開催日 / 2009年11月8日(日)
 開催場所 / 熊本市青年会館ホール
 Y M C A 社交ダンスクラブのダンスパーティーが開催され、約90名が常時流れる音楽に合わせて存分に踊りました。益金は、日韓視覚障がい青少年交流プログラムなどのために役立てられます。